

各教科等の見方・考え方（案）（調整中）（平成28年6月1日時点）

幼児教育	幼児が身近な環境に主体的に関わり、心動かされる体験の中で、環境とのふさわしい関わり方に気付き、そうした関わり方を身に付け生活を意味あるものと捉えようとして、諸感覚を働かせながら、試行錯誤したり、思いを巡らしたりすること
国語科	創造的思考とそれを支える論理的思考の側面、感性・情緒の側面、他者とのコミュニケーションの側面から言葉の働きを捉え、理解したり表現したりしながら自分の思いや考えを深めること
外国語科	外国語やその背景にある文化を尊重し、社会や他者との関わりの側面から言語を捉え、目的・場面・状況等に応じて、外国語で情報や考えなどを形成・整理・再構築し、それらを活用して、外国語を話したり書いたりして適切に表現し伝え合うために考えること
社会科、地理歴史科、 公民科	<p>（社会的事象の歴史的な見方・考え方） 時期、推移や変化などに着目して社会的事象を見出したり、比較して共通性や相違点などを明確にしたりして、因果など事象相互の関連性に留意すること</p> <p>（社会的事象の地理的な見方・考え方） 時間距離や中心性など位置や空間的な広がりとの関わりに着目して社会的事象を見出し、環境条件や他地域との結び付きなど地域等の枠組みの中で人間の営みと関連付けること</p> <p>（人間と社会の在り方についての見方・考え方） 人間と社会の在り方を捉える概念的枠組みに着目して課題を見出し、それらの解決に向けて民主主義、自由・権利と責任・義務など選択・判断するための手掛かりとなる考え方と関連付けること</p>
算数科、数学科	事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、論理的、統合的・発展的に考えること
理科	自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなど、科学的に探究する方法を用いて、多面的に考えること
音楽科、芸術科（音楽） ※高等学校音楽科 の例を記載	感性を働かせて、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で音楽を深く捉え、音楽的な特徴と音楽によって喚起されるイメージや感情、芸術としての音楽とその文化的・歴史的背景などとの関わりについて考えること
図画工作科、美術科、 芸術科目（美術、工芸） ※高等学校美術科の 例を記載	感性や美的感覚、想像力を働かせて、形や色彩などの造形的な視点で、対象のイメージや自己の内面、他者、社会、文化などを深く捉え、心豊かに生きることと芸術としての美術の関わりについて創造的に考えること

芸術科（書道）	<p>感性を働かせて、書を構成する要素やその関連から生み出される働きの視点で芸術としての書を深く捉え、文字と書の伝統と文化、歴史的背景、生活や社会、諸文化などとの多様な関わりの中で、書の特質に即して考えること</p>
家庭科、技術家庭科	<p>（家庭・家庭分野） 家族や家庭，衣食住，消費や環境などに係わる生活事象について，協力・協働，健康・快適・安全，生活文化の継承・創造，持続可能な社会の構築等の視点から解決すべき問題を捉え，よりよい生活の実現に向けて考察すること</p> <p>（技術分野） 材料，生物，エネルギーや情報の特性といった科学的な原理・法則に着目するとともに，問題を見出し，解決するに当たり，倫理観をもち，安全性，社会からの要求，環境負荷，費用等の様々な条件を踏まえつつ，材料の生成・成形，エネルギーの変換・伝達，生物の育成環境，情報の処理手順等を最適なものとなるよう考察すること</p>
情報科	<p>事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けた情報技術を適切かつ効果的に活用（プログラミング、モデル化とシミュレーション、情報デザイン等）について考えること</p>
体育科、保健体育科	<p>（体育） 運動やスポーツについて、その意義や特性に着目して、楽しさや喜びを見出すとともに体力の向上に果たす役割を捉え、公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全といった視点を踏まえながら、自己の適性等に応じて「する・みる・支える・知る」等の多様な関わり方について考えること</p> <p>（保健） 健康や安全の視点から情報を捉え、心身の健康の保持増進や回復、それを支える環境づくりを目指して、疾病等のリスクを減らしたり、生活の質を高めたりすることについて考えること</p>
生活科	<p>身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、比較、分類、関連付け、工夫、試行、予測することなどを通して自分自身や自分の生活について考えること</p>
総合的な学習の時間 ※高等学校の例を記載	<p>各教科等の特質に応じて育まれる見方・考え方を総合的・統合的に活用して、広範かつ複雑な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会や実生活の複雑な文脈の中で物事を考えたり、自分自身の在り方生き方と関連付けて内省的に考えたりすること</p>